

【読み取り方の例】

例 1) 順上段直突きに対し「入り身肘受け順上段直突き」

〈例 1 の解説〉

順①上段②直突き③に対し「入り身④肘受け受け⑤上段順直突き⑥」

- ①の部分は突き技が順か逆かを示しています。
- ②の部分は仕掛け技の攻撃目標の種類、上段／上中段／中段／下段など
- ③の部分は仕掛け手の攻撃技の名称です。
- ④の部分は応じ手が攻撃技を防御する際の間合いの調整の仕方を示しています。
- ⑤の部分は応じ手が攻撃技を防御する際の防御技（受け技）の種類を示しています。攻撃技が2種類（連絡技）の場合、防御技も2種類明記されます。
- ⑥の部分は応じ手が攻撃技を防御した後に反撃する技名を示しています。

例 2) 逆上段回し蹴りに対し「退き身小手受け下段払い逆下段回し蹴り」

〈例 2 の解説〉

逆①上段②回し蹴り③に対し「退き身④小手受け下段払い⑤逆下段回し蹴り⑥」

- ①の部分は仕掛け技が順か逆かを示しています。
- ②の部分は仕掛け技の攻撃目標の種類、上段／上中段／中段／下段など
- ③の部分は仕掛け技の名称です。
- ④の部分は応じ手が攻撃技を防御する際の間合いの調整の仕方を示しています。
- ⑤の部分は応じ手が攻撃技を防御する際の防御技（受け技）の種類を表しています。攻撃技が2種類（連絡技）の場合、防御技も2種類明記されます。

⑥の部分は応じ手が攻撃技を防御した後に反撃する技名を表しています。

例 3) 上中段直突き (順/逆) に対し「退き身払い落とし受け上中段直突き (順/逆)」

〈例 3 の解説〉

上中段①直突き② (順/逆) ③に対し
「退き身④払い落とし受け⑤上中段直突き⑥ (順/逆) ⑦」

①の部分は仕掛け技 (攻撃技) の攻撃位置を示しています。上段/上中段/中段/下段など

②の部分は仕掛け手の攻撃技名 (仕掛け技の名称) です。

③の部分は仕掛け手の攻撃技が順突きと逆突きを交互に行うということを示しています。1種類の場合は、②の部分の前、例えば、直突きの前に「順」または「逆」の記号が入ります。また、攻撃技が2種類の場合は、③の部分に連絡技と明記されます。

④の部分は応じ手が攻撃技を防御する際の間合いの調整の仕方を示しています。

⑤の部分は応じ手が攻撃技を防御する際の防御技 (受け技) の種類を示しています。攻撃技が2種類 (連絡技) の場合、防御技も2種類明記されます。

⑥の部分は応じ手が攻撃技を防御した後に反撃する技名を示しています。

⑦の部分は、応じ手の反撃技が順と逆の反撃技を交互に行うということを示しています。